



F&A AQUA  
holdings, inc.

# 株式会社F&Aアクアホールディングス 第63期第2四半期株主通信

(2012年3月1日から2012年8月31日まで)

## 株主の 皆様へ

当社グループは、全てのステークホルダーに対して誠実に対応し、信頼される企業、夢を与えられる企業、貢献できる企業、期待される企業を目指すことを経営理念としています。

そして、常に挑戦の姿勢で物事に取り組み、新しい市場を創造し、価値を創り続けることにより、持続可能な発展を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご助力をいただければ幸いです。



代表取締役社長 木村 祭氏

## 2012年度第2四半期の総括

当第2四半期は、東日本大震災の反動もあり、3月の売上高は大幅に増加、4月以降も引き続き好調に推移し、7月には上期業績を上方修正しました。その後も好業績を維持したことで修正計画を上回り、営業収益5.2%増、営業利益50.8%増、経常利益61.5%増、四半期純利益86.5%増と増収大幅増益となり、各利益とも過去最高を達成することができました。全ての事業会社において、前期までに確立した成長戦略の要となるビジネスモデルが、増収増益へと導いたととらえています。

事業会社別にみると、エフ・ディ・シー・プロダクツグループでは、「4℃」(ヨンドシ)ジュエリーの健闘に加え、「4℃ BRIDAL」(ヨンドシブライダル)や「canal4℃」(カナルヨンドシ)が順調に出店拡大しました。アスティグループは、企画提案力の強化により、OEM事業を中心に売上が増加しました。一方、(株)三鈴は、売上こそ苦戦したものの、ブランド価値向上とSPA機能の強化により荒利益率は改善しました。(株)アージュは、主力の「パレット」の好調により増益を達成することができました。

## 当初計画を上回る見通しで成長が加速

上期は「Challenge & Progress(挑戦と躍進)」をテーマに掲げた第3次中期経営計画の初年度として、成長分野への積極投資等の重点戦略に取り組んできました。その結果、2013年2月期の連結業績は当初計画を上回る見通しです。当第2四半期終了時点では、営業収益480億円(計画比1.1%増)、営業利益42億円(同10.5%増)、経常利益47億円

(同9.3%増)、当期純利益25億円(同13.6%増)とそれぞれ修正しており、特に営業利益と経常利益は過去最高益更新を見込んでいます。景況感の悪化により個人消費の動向は引き続き不透明感がありますが、ジュエリー需要が堅調であること、店舗の収益構造が改善し出店による利益増が期待できることなどから、目標の達成が十分可能であるととらえています。

このように業績が好調であることから、経常利益、ROEベースでは、第3次中期経営計画の数値目標を1年前倒しで達成できる見通しであり、成長スピードが加速しています。今後も成長分野への積極投資として、各社、各ブランドで出店開発を進めるとともに、4℃ブランド価値の向上へ向けて広告・販促費を投入していく計画です。

また、継続的にキャッシュ・フローが積み上がり自己資金が充実することから、M&Aも積極的に検討していきます。同時に、次世代のリーダーや海外進出のための人材育成に力を注ぐとともに、グループシナジーをより一層高め、第3次中期経営計画のビジョンの実現を目指してまいります。

## 第3次中期経営計画の基本方針

### 事業ビジョン

- |   |   |   |                 |
|---|---|---|-----------------|
| 1 | エフ・ディ・シー・プロダクツグループにおけるチャネル戦略の推進によるジュエリーSPA事業の成長拡大 | 5 | 海外戦略の推進         |
| 2 | アスティグループにおける企画・生産機能の強化によるアパレルメーカー事業の収益向上          | 6 | EC事業の拡大         |
| 3 | (株)三鈴におけるコアブランドの育成によるアパレルSPA事業の確立                 | 7 | 「4℃」ブランドの価値向上   |
| 4 | (株)アージュにおける都市型フォーマットの確立によるテイラーファッション事業の収益向上       | 8 | 各グループ子会社の利益体質強化 |

### 組織ビジョン

- グループシナジー体制の構築
- グループ業務機能の集約・強化
- グループ次期基幹システムの構築
- グループ人材育成の推進
- グローバル化に対応した人材の育成

### 数値ビジョン

連結売上高	520 億円
経常利益率	10%
ROE	7%

# 「挑戦と躍進」に向けて F & A WAY

F&Aアクアホールディングスは、「4℃」ジュエリーを中心としたブランドSPA事業・飲食業のエフ・ディ・シー・プロダクツグループ、OEMを中心としたアパレルメーカー事業、ホールセール事業およびディベロッパ事業のアスティグループ、アパレルSPA事業の(株)三鈴、リテール事業を行う(株)アージュの4事業グループで構成されています。それぞれの事業グループの2012年度第2四半期の総括、および2012年度第3四半期の計画についてご紹介します。

## エフ・ディ・シー・プロダクツグループ

第2四半期は、主力の「4℃」ジュエリーの既存店が新ゾーン「4℃ Pregence」(ヨンドシブプレジエンス)の好調な推移などにより健闘したことや、「4℃ BRIDAL」「canal4℃」が引き続き成長を維持したことにより、売上高は前年同期を上回り好調に推移しました。

第3四半期は、クリスマス商戦での成功に向け限定商品の展開とともに、販売促進面でも強化を図ります。また、10月には新ブランド「MAISON JEWELL」(メゾンジュエル)を出店し、郊外型SCという新たなマーケットへ挑戦していきます。



「MAISON JEWELL」(メゾンジュエル)は、大切な人と繋がるジュエリーをテーマに、正統派トラディショナルジュエリーを提案していきます。

## アスティグループ

第2四半期は、アパレルメーカー事業において、引き続き主力得意先との取り引きが大幅に拡大、また専門店を中心に新規取引先の開拓も順調に進み、取引高が増加したことにより、売上高は前期を大きく上回りました。

第3四半期は、ベトナム、バングラデシュ等の海外新規生産背景において、アパレル商品の生産をスタートさせます。国内外でのマーケットリサーチによる企画力強化にも注力しており、ODM事業の一層の拡大を目指していきます。



アパレルメーカー事業において、ODM機能の強化と新規得意先開拓の推進を目的に、9月に展示会を開催いたしました。

## (株)三鈴

第2四半期は郊外型SCチャネル店舗が好調、特に「Flor by Rew de Rew」は若い客層の支持を得ました。商品面ではオケージョコーナーや服飾雑貨コーナーを積極的に確立することで他社との差別化が図れました。

第3四半期はプロパイベントの提案力を高め、アウターのサイズ展開やカラーMDの見直し等商品企画力の強化を行います。そして、PV(プロモーションビデオ)の活用、インスタールセールプロモーション等の提案力を強化し、集客力を高めていきます。



「Rew de Rew」「Flor by Rew de Rew」では人気ファッション誌との巻頭4Pタイアップ掲載のほか、店頭でのPVやポスター掲示による新たな情報発信を行いました。

## (株)アージュ

第2四半期は、主力の「パレット」では既存店売上が前年を維持し、さらに3月にオープンした新店が引き続き好調に推移しました。

第3四半期は「パレット」については、既存店売上の前年クリアと、新規出店4店舗の成功による更なる拡大を目指します。「LOU」はヤングミセス向けにナチュラル系商品を強化し、「ラポール」は催事の企画内容を見直すことにより集客力を高め、売上高の確保に取り組んでいきます。



「パレット」では第3四半期に4店舗の出店を計画しており、今後も関西地区への出店拡大を進めていきます。

# Advance to the Future

# 四 半 期 連 結 財 務 諸 表

## 2013年2月期第2四半期累計期間連結業績

営業収益	<b>226億円</b> (前年同期比 +5.2%)
営業利益	<b>20億円</b> (前年同期比 +50.8%)
経常利益	<b>23億円</b> (前年同期比 +61.5%)
四半期純利益	<b>10億円</b> (前年同期比 +86.5%)

## 連結貸借対照表(要旨)

科 目	2012年2月期(第62期) (2012年2月29日現在)	2013年2月期第2四半期(第63期) (2012年8月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	11,974	12,286
固定資産	39,167	38,617
資産合計	51,142	50,904
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	8,530	7,670
固定負債	3,774	3,809
負債合計	12,304	11,479
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	39,030	39,817
その他の包括利益累計額	△208	△410
新株予約権	14	16
少数株主持分	1	1
純資産合計	38,837	39,425
負債純資産合計	51,142	50,904

## 連結損益計算書(要旨)

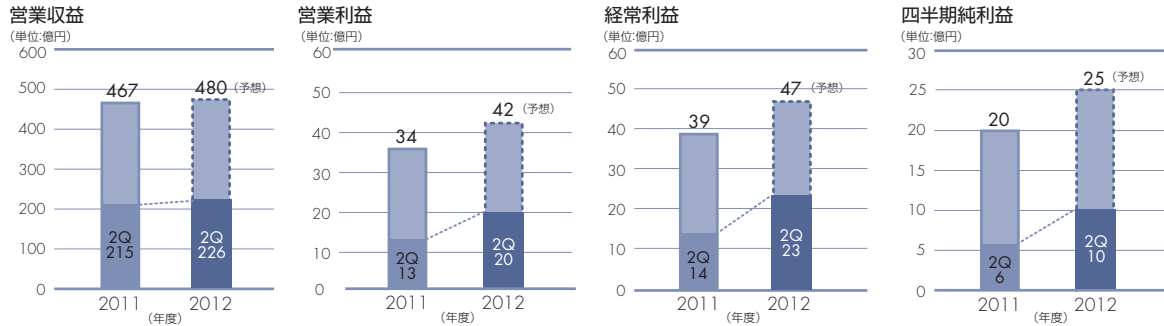
科 目	2012年2月期第2四半期(第62期) (2011年3月1日から2011年8月31日まで)	2013年3月期第2四半期(第63期) (2012年3月1日から2012年8月31日まで)
営業収益	21,510	22,625
売上高	20,997	22,136
売上原価	9,881	10,190
売上総利益	11,115	11,945
その他の営業収入	513	488
営業総利益	11,629	12,434
販売費及び一般管理費	10,328	10,472
営業利益	1,300	1,961
営業外収益	155	357
営業外費用	33	22
経常利益	1,422	2,296
特別利益	121	14
特別損失	275	362
税金等調整前四半期純利益	1,268	1,948
四半期純利益	561	1,047

注:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	2012年2月期第2四半期(第62期) (2011年3月1日から2012年8月31日まで)	2013年3月期第2四半期(第63期) (2012年3月1日から2012年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△72	333
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158	△492
財務活動によるキャッシュ・フロー	239	△405
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8	△562
現金及び現金同等物の期首残高	502	1,287
現金及び現金同等物の四半期末残高	511	724

注:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。



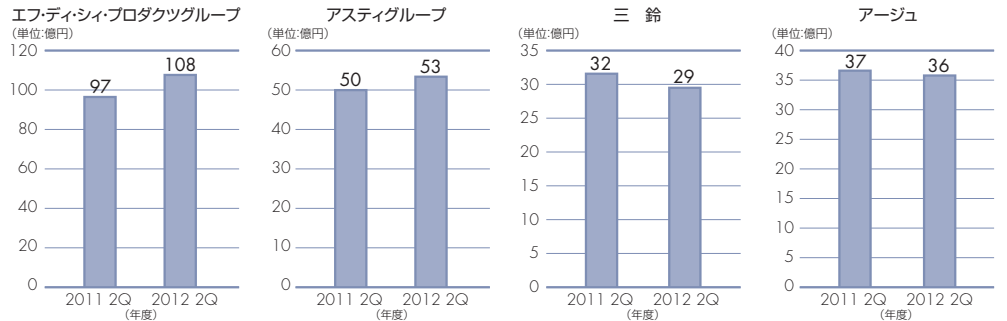
# セグメント情報

## 事業区分別業績

	営業収益 (単位:百万円)			セグメント利益 (単位:百万円)		
	2012年2月期 第2四半期	2013年2月期 第2四半期	前年同期比(%)	2012年2月期 第2四半期	2013年2月期 第2四半期	前年同期比(%)
エフ・ディ・シー・プロダクツグループ	9,709	10,796	+11.2	1,219	1,620	+32.8
アスティグループ	4,952	5,281	+6.6	214	461	+115.0
三鈴	3,167	2,932	△7.4	6	1	△78.2
アージュ	3,681	3,615	△1.8	64	73	+14.4
合計	21,510	22,625	+5.2	1,300	1,961	+50.8

注1:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。注2:外部顧客に対する営業収益を表示しています。注3:セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 事業区分別営業収益





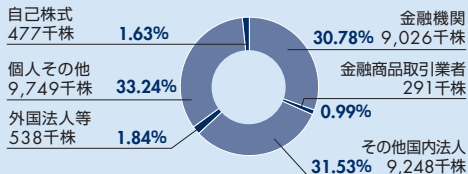
# 株主情報

## 株式情報 (2012年8月31日現在)

発行済株式総数	29,331,356株
1単元株式数	100株
株主数	8,164名

## 株式分布状況 (2012年8月31日現在)

### ■所有者別株式分布



## 大株主 (2012年8月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社フジ	5,224	17.81
株式会社広島銀行	1,439	4.91
第一生命保険株式会社	1,254	4.28
F&Aアクア共栄会	1,124	3.83
株式会社三井住友銀行	781	2.66
株式会社伊予銀行	739	2.52
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	548	1.87
F&Aアクアホールディングス従業員持株会	490	1.67
株式会社もみじ銀行	477	1.63
東京海上日動火災保険株式会社	458	1.56

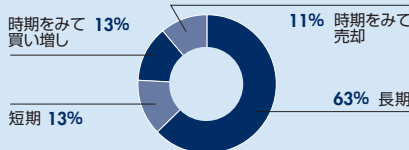
注:当社は自己株式477,440株を保有しておりますが、大株主からは除外しております。

## 株主アンケート結果 (2012年2月期実施)

(株)F&Aアクアホールディングスでは、株主の皆様の声をIR活動の一層の改善に活かすため、継続的に株主アンケートを実施しております。今回も多数の株主様にご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご回答いただきました皆様は、発信数10,211名に対し合計7,955名、77.9%の返信率でした。その結果、当社の株式については、ご回答者全体の63%が長期保有であるとお考えでした。また、株主優待については、ご回答者全体の81%の方から「満足」のご回答をいただきました。アンケートの結果をふまえ、これからも株主・投資家の皆様にタイムリーで公正な情報をお届けできるよう、なお一層の努力をまいります。

### ■当社の株式保有に関するお考えをお教えてください。



### ■株主優待についてご感想をお聞かせください。



## 「2011年度 株主優待」における寄付のご報告

今年度は、126名の株主様より、合計352,000円を日本水フォーラムへ寄付させていただきました。謹んで御礼申し上げます。

## 株主メモ

決算期日	毎年2月末
定時株主総会	毎年5月
配当金支払株主確定日	毎年2月末、毎年8月末(中間配当)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都江東区東砂7-10-11 (お問い合わせ先) 電話 (0120)232-711 (通話無料) (各種手続き用紙のご請求) 電話 (0120)244-479 (通話無料)
公告	(公告方法)当会社の公告方法は電子公告としております。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。(公告を掲載するホームページアドレス)http://www.fa-aqua.co.jp/ir/koukoku.html/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	8008

(ご注意)

1. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
3. 配当金の口座振込のご指定につきましては、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。

## 会社概要 (2012年8月31日現在)

社名 株式会社 F&Aアクアホールディングス (英文) F&A AQUA HOLDINGS, INC. (略称) F&AアクアHD

代表者 代表取締役社長 木村 祭氏

所在地 〒141-0021 東京都品川区上大崎二丁目19-10

設立年月日 1950年5月18日

資本金 24億8,652万円

事業内容 ジュエリーを中心とするブランド事業  
アパレル・バッグを中心とした  
企画・製造・卸売事業および小売事業

連結子会社 13社



当社のIRサイトでは、企業活動全般にわたる最新の情報をご提供しております。特に株主通信は、株主の皆様によりタイムリーに情報をご提供するため、四半期毎に作成しています。第1四半期および第3四半期株主通信は、ホームページのみでご覧いただけます。また、メールアドレスをご登録いただいた方に随時情報配信を行っております。是非ご覧ください。

URL <http://www.fa-aqua.co.jp/>

IRお問い合わせ先 業務部 業務課

TEL:03-5719-3429 FAX:03-5719-4462

E-mail:ir@fa-aqua.co.jp

## 事業会社の概要

### 株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

代表者 代表取締役社長 田村 英樹  
本社所在地 〒141-8544 東京都品川区上大崎二丁目19-10  
事業内容 ジュエリー、バッグ等の企画・製造  
創業 1972年4月  
設立 1986年4月  
資本金 4億円  
URL <http://www.fdcpc.co.jp/>

### 株式会社アスティ

代表者 代表取締役社長 木村 祭氏  
本社所在地 〒733-8641 広島市西区商工センター二丁目15-1  
事業内容 アパレルおよびバッグメーカー、アパレル卸  
設立 2006年9月  
資本金 1億円  
URL <http://www.astly.co.jp/>

### 株式会社三鈴

代表者 代表取締役社長 岡藤 一朗  
本社所在地 〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目11-2 代々木コミュニティビル2F  
事業内容 婦人服・雑貨の企画・製造・販売  
設立 1970年3月  
資本金 1億円  
URL <https://www.misuzugp.co.jp/>

### 株式会社アージュ

代表者 代表取締役社長 石角 毅  
本社所在地 〒733-0833 広島市西区商工センター二丁目15-1  
事業内容 総合衣料チェーン、レディスカジュアルチェーン等の運営  
設立 1996年3月  
資本金 1億円  
URL <http://www.agegroup.jp/>